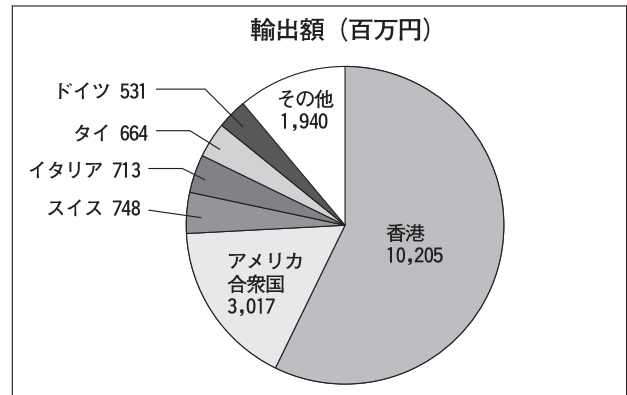
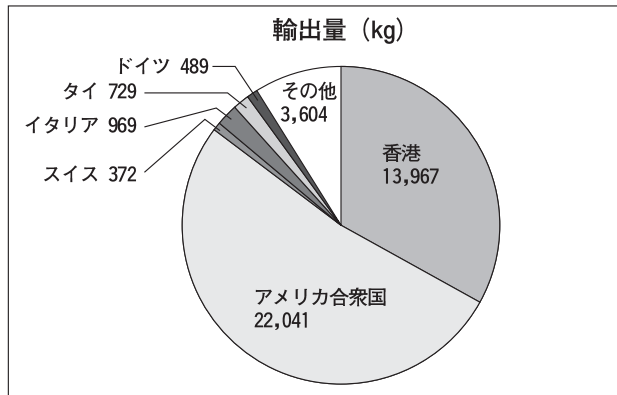


(3) 輸出数量と価格 (2009年1~12月の暦年集計)

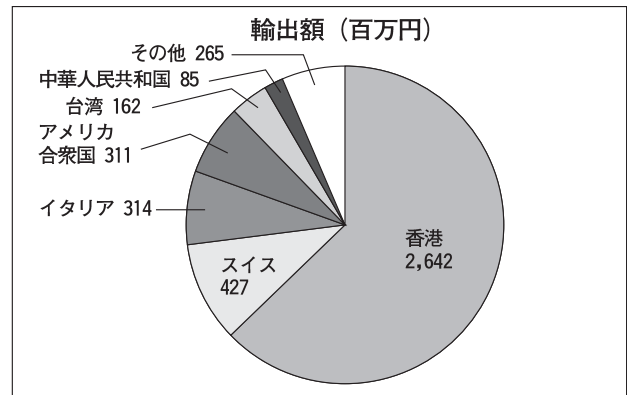
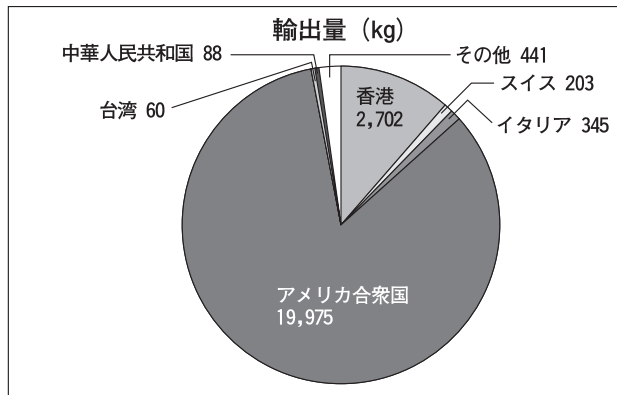
真珠は生産量の4~6割(年により異なる)を海外に輸出している輸出産業であり、真珠の輸出実績について、国内全体と神戸港と関西空港における輸出量と輸出額を調べた。

輸出の中心は神戸港と関西空港で、真珠の加工・流通額(2009年、81.1%)のおよそ8割を扱っているため、神戸には多くの真珠業者が集まっており「真珠の街」と呼ばれている。

図表3 全体の輸出量と輸出額



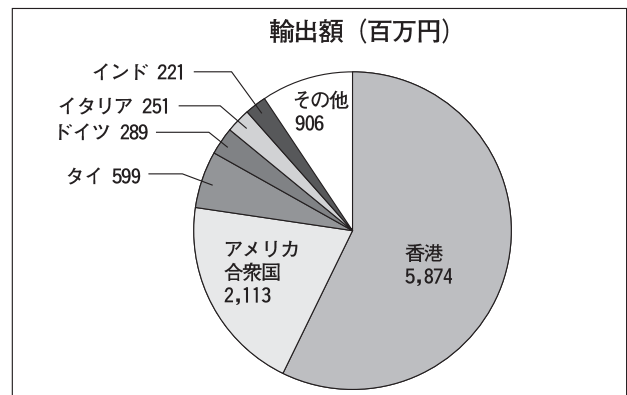
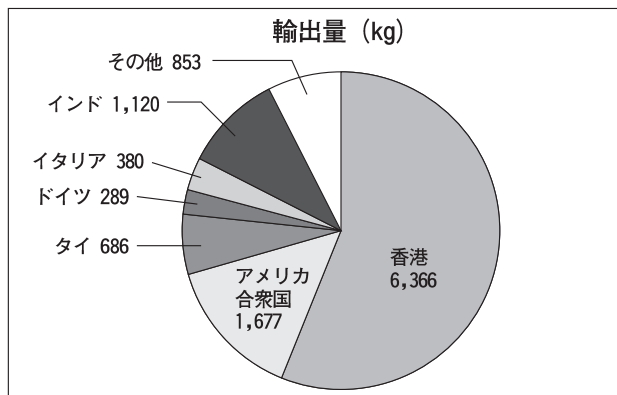
図表4 神戸港からの輸出量と輸出額



※米国への輸出量(輸出額は小さい)のシェアが大きいのは、真珠缶(注1)が輸出されているため。

(注1) ネコ缶(キャットフード)くらいの大きさで、中には中国産ヒレイケチョウ貝が医薬用アルコールと蒸留水で保存されており(非常に臭い)、その貝肉の中には“人魚の涙”として、ピンク(恋愛)・ホワイト(健康)・クリーム(幸福)・パープル(学問)・ブラック(財産)の淡水真珠が1個入っている。

図表5 関西空港からの輸出量と輸出額



グラフデータ: 「神戸税関資料」より